

QCサークル東海支部  
経営者フォーラム2021 結果報告

とき	2022年 1月13日(木)	担当会社	株式会社アイシン
ところ	ウインクあいち(web)	参加企業・参加者数	98団体 220名

【今大会の特徴】

本フォーラムは、QCサークル東海支部の愛知・静岡・三重・岐阜4地区の経営者の皆様をお招きし、JHS・医療/福祉への普及・拡大元年と位置付け、招待企業をJHS・医療/福祉に特化し、小集団活動、JKKの魅力を経営層に伝え「まずは参加させたい」と思って頂けるような企画として、また、中期的視点で継続的な普及の企画として開催しました。企業を取り巻く環境がこれまでになく大きく変化する現代における、品質経営のあるべき姿、QCサークル活動の有効性について講演頂き、非常に充実した講演会となりました。

《基調講演》 講師:基調講演 一般財団法人日本科学技術連盟 理事長 佐々木 眞一 氏  
テーマ:『非製造業における小集団活動の導入について』

《特別講演》 講師: 藤田医科大学病院 医療の質管理室 安田 あゆ子 氏  
テーマ:『医療の質向上を目指して -医療現場のプロセス改善-』

《パネルディスカッション》 コーディネーター:静岡大学 情報学部 行動情報学科 梶原 千里 氏  
テーマ:『医療現場での改善に見る小集団活動の導入意義』

【今大会のトピックス】

1. 会場・出席者について
  - ・コロナ禍によりウインクあいちをホスト会場としてwebにて実施、一般参加57団体を始め98団体220名が参加。
2. 講演
  - ・一般財団法人日本科学技術連盟 理事長佐々木 眞一 氏による講演では、本部としJHS・医療/福祉分野への小集団活動を普及することに対する想い、自工程完結の有効性を具体的な施策を交えながらご講演頂きました。
  - ・藤田医科大学病院 医療の質管理室 安田 あゆ子 氏 による特別講演では、“医療の質管理室”での様々な質向上活動事例の事例を通して、JHS企業にも広く活用できる「自工程完結」の考えや重複小集団活動の意義を、チャットを有効に使い参加者とコミュニケーションを取りながら講演頂きました。
  - ・今回初めて企画したパネルディスカッションでは、コーディネーターに静岡大学 情報学部 行動情報学科 梶原 千里 氏による「医療の質マネジメント」「病院へのQMSの導入・普及」等研究者のお立場から、講演者と参加者へはチャットを使い経営者へ小集団活動・自工程完結の重要性を繋げて頂いた。

開会挨拶・支部活動紹介



基調講演  
(佐々木理事長)



特別講演  
(安田あゆ子氏)



PDJ-デネター  
(梶原千里氏)



パネルディスカッション風景



会場風景

